



# 古賀市記者懇談会（7月）

令和4年7月19日（火）10時00分～

会場：応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社  
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

## ①老舗メーカーの挑戦 古賀市名産「古賀ラーメン」を開発【P1】

【古賀市役所】（問い合わせは 商工政策課 藤本＝092-942-1176）

古賀市に根を下ろして40年。主にレトルト食品を取り扱う老舗メーカー（株）日祥が、古賀市名産「古賀ラーメン」を開発しました。クラウドファンディングで資金の一部を調達し、市内の消費に留まらず、市外の来訪者にも自信を持って提供できる「市の名産」をめざし開発に着手。40年以上のロングセラー「牛もつ入り鍋スープ」の味をもとに、牛もつや糸島産きくらげなど、麺との相性を考え試行錯誤を重ねました。ラッピングは高級感のある黒箱で梱包し、お土産や贈り物にも最適です。

売上の一部を市の福祉団体に寄付する仕組みで、市のPRと福祉事業への貢献の両立をめざしています。

## ②求ム！ふるさと古賀の味の継承者 「地域おこし協力隊」を募集【P3】

【古賀市役所】（問い合わせは 農林振興課 中田・大渡＝092-942-1120）

古賀市のふるさとの味の次代への継承や、農産物の加工などに精力的に活動してきた女性農業者グループ「農村加工所まんま実～や」。メンバーの高齢化やコロナ禍の収入減が響き、令和2年12月に解散、12年の歴史に幕を閉じました。

そこで、「まんま実～や」が培った故郷の味の継承や、市の農産品のブランディングなど、魅力的な商品開発に意欲をもって取り組む人材を「地域おこし協力隊」として募集します。

農産物加工の経営に携わってみたいという熱意のある人を地域おこし協力隊として招き、任期中に得た加工技術を生かした特産品開発や、販路拡大に向けた継続的な活動に期待しています。

## ③地球の今、古賀海岸の今を知る「海辺の生きもの観察会」【P5】

【古賀市役所】（問い合わせは 環境課 安部＝092-942-1127）

わたしたちは、古賀で暮らす生きものしたこと、古賀にある自然をどのくらい知っているでしょうか。わたしたち人間の暮らしは、生きものや自然の支えなしには成り立ちません。

そこで、古賀に生息する生きものの特徴や自然環境の大切さを知り、生物多様性について考えるきっかけにするため、海辺（古賀海岸）で観察会を開催します。

九州大学の小山助教の説明を受けながら、浅瀬で生き物を捕まえたり、地引網を用いたりしながら、海辺に生息する生物の名前や特徴を学びます。過去と現在の種類や数の違いを知ることで、生態系の変化や、自分たちが住む地球の未来に何ができるかを考えるきっかけになることを期待しています。

### ■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 川原、大川＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

### ●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・8月25日（木）13時00分～ 場所：古賀市役所応接室 A
- ・9月21日（水）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室 A